



御所見防災



2025年3月号

御所見地区防災組織連絡協議会会長 椎野 幸一

～ 2024 年度の活動を振り返って～

『能登半島地震から新たな教訓を学び訓練に活かしました』

2024年1月1日の夕方、能登半島地震発生を伝える速報が鳴り響きました。刻々とテレビに流れてくる映像は、震度6強のゆれに伴う道路の寸断、津波、崖崩れ、家屋の倒壊、等々で新年を迎える私たちにとって、とてつもない衝撃であったことを記憶しています。

その後、情報が集まってくるにつれて様々な教訓が浮きぼりとなり、今後の防災活動のため普段の備えを拡大していかなくはないと思いました。



能登半島地震で倒壊した家屋

さて、その教訓とは、

- 水の確保が重要であること。
- 道路の寸断により、情報共有や物流、人の移動に多大な影響が出たこと。
- 自宅における防災バック常備の重要性を認識し備えること。
- ボランティアの支援を受ける場合、被災地側でも受入対応が必要となること。

特に今回の被災地では、藤沢市では既に取り組んでいるF S V (藤沢災害ボランティア) のような仕組みが確立されていなかったことにより、ボランティアの受入が遅れ、被災者支援に時間がかかってしまったそうです。

これらの教訓も踏まえ、2024年度の御所見地区総合防災訓練は、子どもから大人まで幅広い年代の参加をお願いし、起震車体験や様々な搬送用具を用いた操作誘導訓練など、新たな訓練項目を取り入れて開催しました。

今後も各自主防災組織を中心として、普段の備えを軸に、“生きる・助ける”を基本に、防災力を高める環境をつくれるよう前進していきましょう。



能登半島地震で寸断された道路

1 2024年度の取り組みについて（報告）

（1）5月15日 地区防災リーダー研修会

地区防災リーダーを対象に、防災リーダーの役割に関する研修会を行いました。

御所見地区の自主防災組織は、自治会長と防災リーダーを中心に組織されています。

災害時は主に防災リーダーが、地域住民の皆様とともに自助・共助を発揮するための重要な役割を担います。



（2）6月6日 第1回全体会

今年度の第1回全体会を開催しました。

第1回は、2024年度の活動を審議する場として開催しました。

年間計画とPDCA(計画・実施・見直し・改善)を回す問題・課題について議論しました。

結果として、各自主防災組織それぞれの年間計画を共有し、2024年度の防災活動を開始することになりました。

（3）避難施設運営委員会（8月26日、29日、9月11日）

避難施設運営委員会は、藤沢市防災組織連絡協議会の5本の柱の活動の1つとなっています。

各指定避難所において、各自主防災組織の代表者、および学校関係者が避難施設運営委員会のメンバーになっており、御所見地区では、例年夏に指定避難所の運営に関する会議を開催しています。

今年度も地区内3つの指定避難所（御所見小学校、中里小学校、御所見中学校）で会議を開催しました。

内容としては、避難所開設時に使用可能な場所、通信設備、防災倉庫内の物品、施設使用時の注意事項等を改めて確認しました。

その後、内容を一步深め、指定避難所と拠点本部間の通信訓練等を行いました。



(4) 11月9日 御所見地区総合防災訓練

『家族で参加 防災意識を向上 “いざ”に備え』

11月9日（土）快晴の中、御所見地区総合防災訓練を開催しました。

今年度も 269 名の方にご参加いただき、防災意識・家族の連携意識の向上を目的に訓練を行いました。これまで以上の訓練になったと思います。



市長視察



地震発生



シェイクアウト



避難誘導訓練①



避難誘導訓練②



自主防災会 集合



安否の確認報告

	用地第一	用地第二	用地第三	建地一	第二	建地三	建地四
安泰區 50	22	135	148	152	285	285	15
凱耀區 60	22	117	25	8	18	13	19
	打房	打房	古宅	別墅	高層	住宅	店舖
安泰區 50	99	10	114	152	212	109	
凱耀區 60	75	18	24	16	29	11	

安否確認集計結果



煙體驗



操作誘導訓練 (台車)



パトカー乗車体験



操作誘導訓練（車イス）



起震車體驗



消火器訓練



消防車乗車体験

(5) 2025年2月20日 防災研修会

研修会で横浜に行きました。初めにニュースパークを訪問し情報を伝達し続ける新聞の歴史を勉強しました。

その後、横浜市民防災センターで「地震火災体験ツアー」に参加しました。昔の地震を再現した地震シミュレーターでは立ってられないほどの揺れを体感し、家庭における家具固定の大切さ等を再認識しました。

来年度の防災活動に期待が持てる研修となりました。



2 2025年度 事業計画(案) について

2024年度の反省点を踏まえ、2025年度は以下の事業計画で進める予定です。藤沢市の問題/課題に対する5本の柱を中心に取り組みます。

項 目	問題/課題(反省点)	狙 い ど こ ろ
①自主防災活動の活性化	・ 自助の質向上 ・ 独自の訓練実施	・ 家具の転倒防止、消火器の設置等の強化
②避難行動要支援者対策	・ 災害発生時の誘導向上 ・ 名簿管理の質向上	・ 誘導手段の訓練強化 ・ 安否確認の質向上
③避難施設運営の確立	・ 従事職員の開設の質向上 ・ リーダーの役割向上	・ ファーストミッションボックスを学ぶ
④拠点本部の役割強化	・ 避難者受入の質向上	・ 避難者受入の手順整理
⑤災害救援ボランティア受入体制の確立	・ ボランティア登録強化 ・ コーディネーターの育成	・ コーディネーター講習の受講

○危機管理課からのお知らせ 『一時避難場所をご存じですか?』

一時避難場所は、災害から一時的に身を守り、地域の方々が指定避難所にまとまって避難するために集合する場所で、自主防災組織などがあらかじめ定めた避難場所です。

災害時には、地域の方々が一時避難場所に一旦集まって、地域住民の安否や周囲の状況を確認した後、指定避難所への移動や、地域が安全な状況であれば、帰宅してもらいます。

一時避難場所は、被災生活が長期化する場合には、地域コミュニティ（情報交換や炊き出しを行うなど）の場所にもなります。

その際には、各自で物資や機材を持ち寄り、お互いに助け合いましょう。

《コラム》椎野 幸一

自治加入世帯が減少する中で、当協議会でも協力員不足が続いている。地震大国日本だから、防災に対する備えの観点から見ると、もっと関心を持って参加してもらいたい。

自治会員の皆様には、是非協力員になっていただき、本部役員としてご活躍願いたい。人生の階段として・・・。

【発行】御所見地区防災組織連絡協議会

【文責】会長 椎野 幸一

【事務局】御所見市民センター

住所：藤沢市打戻1760-1

電話：0466-48-1002